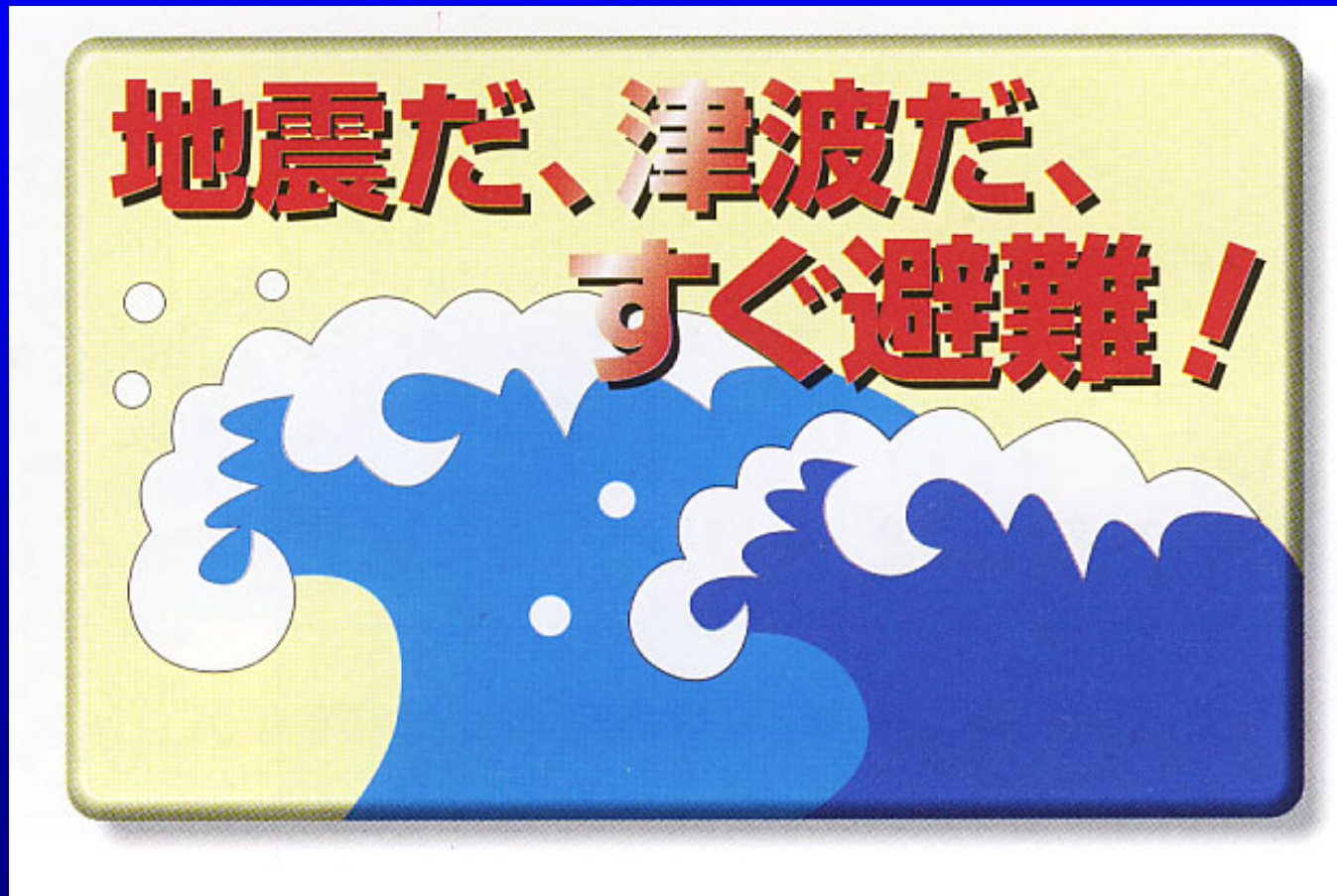


静岡県津波避難対策

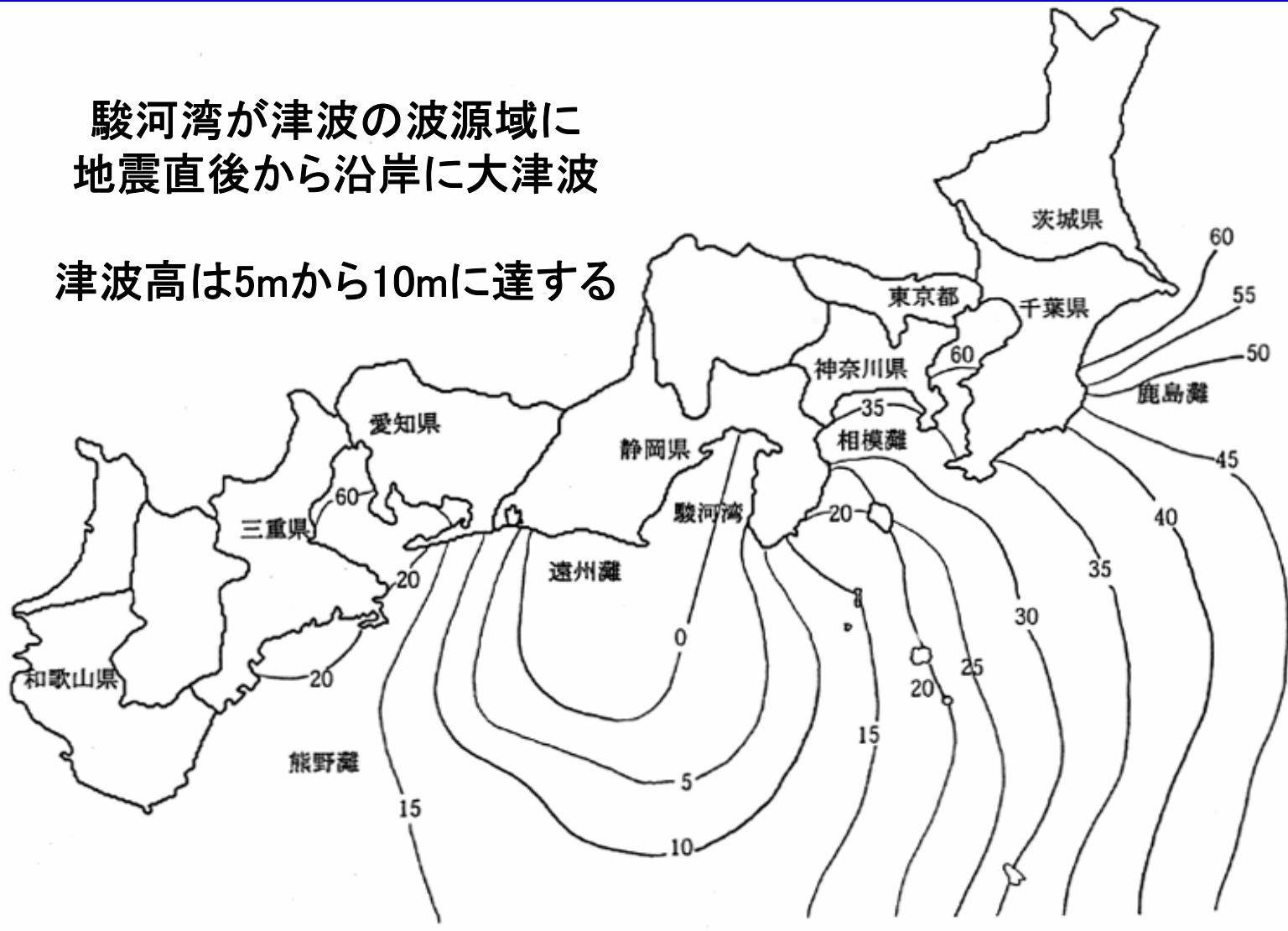


静岡県防災局 岩田孝仁

津波危険予測 (到達時間)

駿河湾が津波の波源域に
地震直後から沿岸に大津波

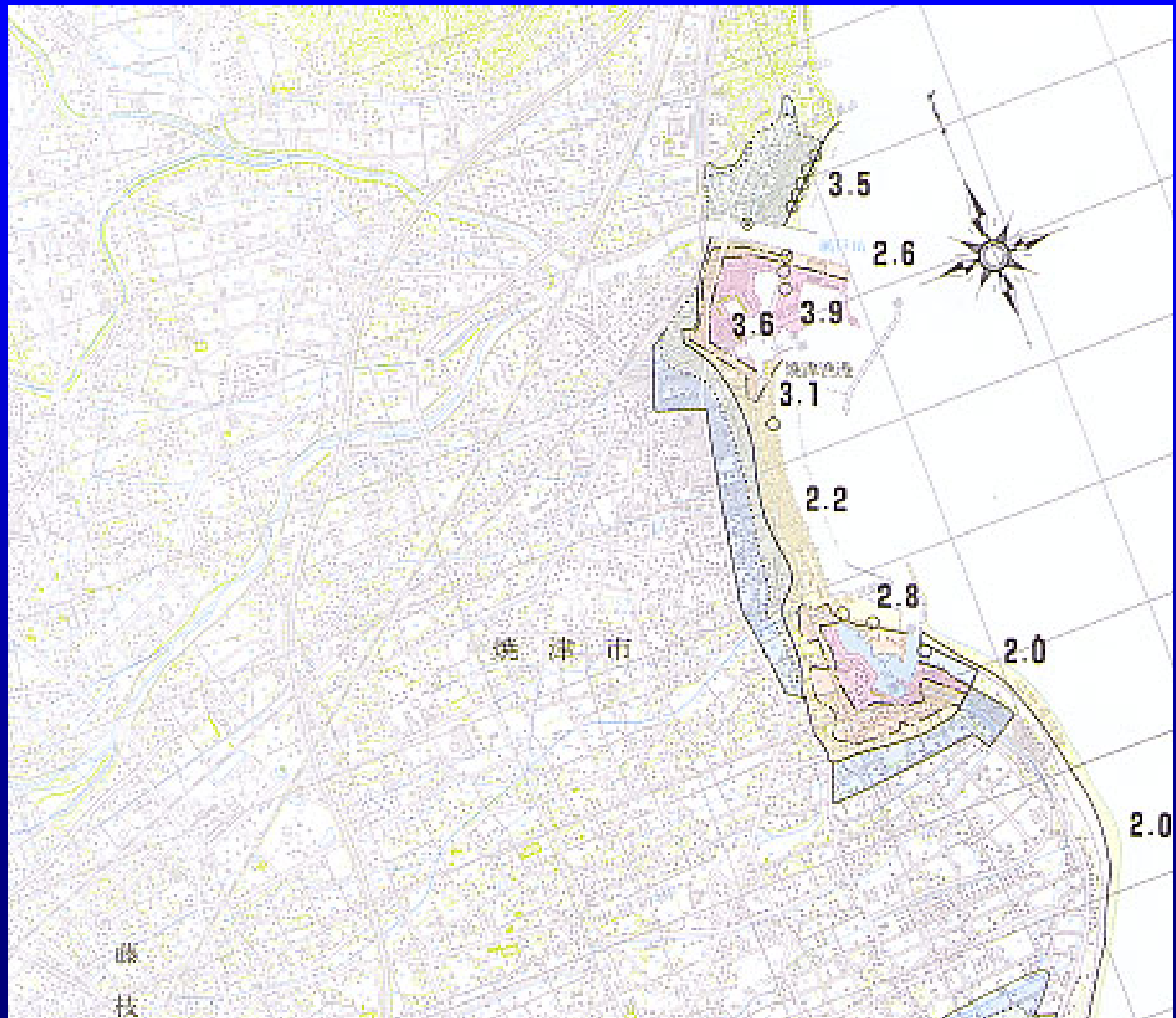
津波高は5mから10mに達する



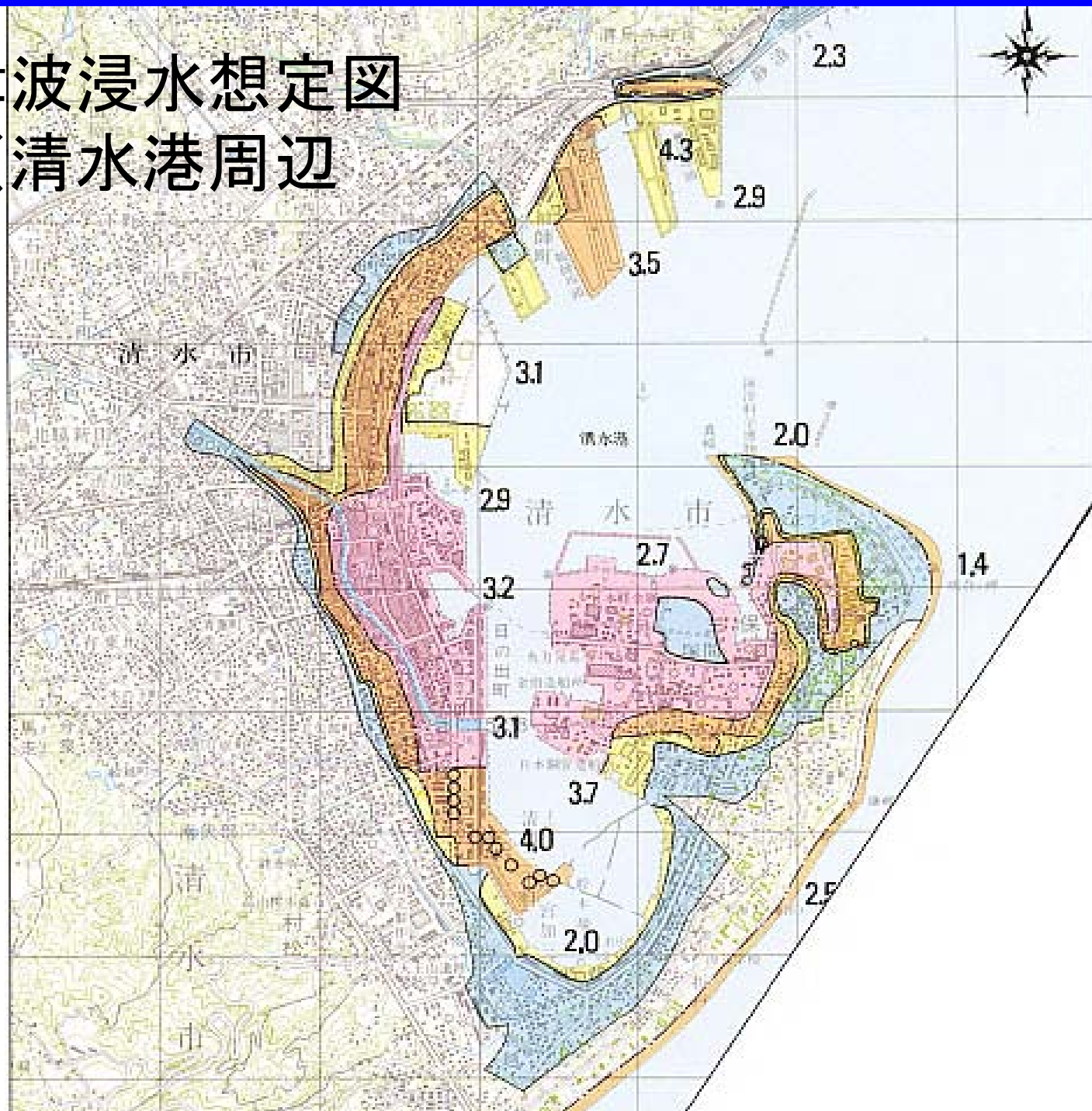
津波の浸水深さと被害程度

津波波高(m)	1	2	4	8	16
津波形態	潮汐 膨れ上がる		2波後砕波	第1波砕波	
木造家屋	半壊		全壊		
石造家屋	持ちこたえる			全面破壊	
鉄筋コンクリート家屋	持ちこたえる				全面破壊
漁船		被害発生	被害率50%	被害率100%	
防潮林	被害軽微	漂流物阻止	部分的被害	全面的被害	
	津波軽減		漂流物阻止	無効果	
養殖筏	被害発生				
沿岸集落		被害発生	被害率50%	被害率100%	
打上高(m)	1	2	4	8	16

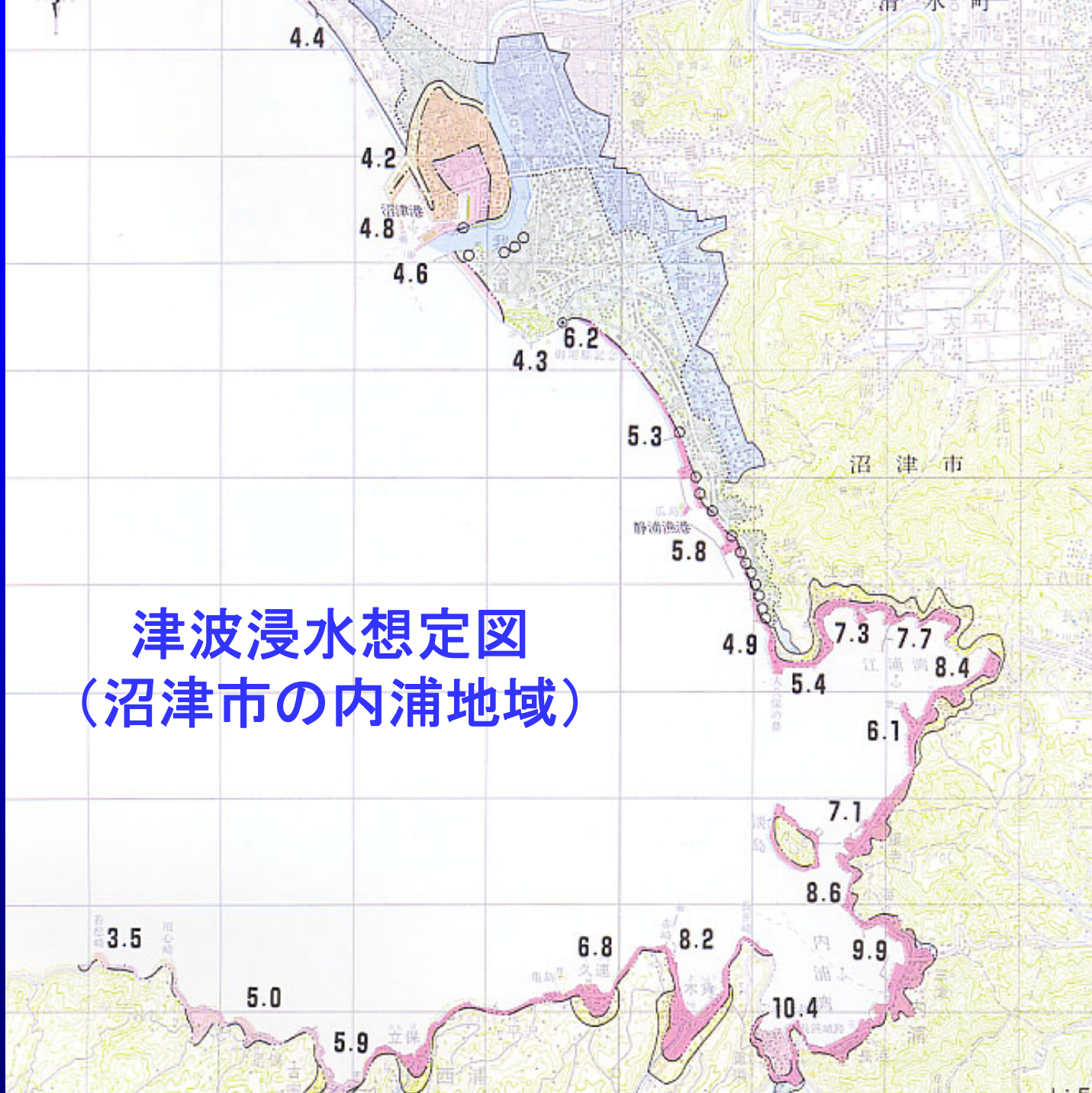
想定津波浸水域(焼津市)



津波浸水想定図 (清水港周辺)



津波浸水想定図 (沼津市の内浦地域)



西伊豆町仁科漁港 航路入り口の耐震水門



沼津港 航路入り口の 耐震水門

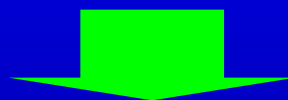


電動化が進む陸間



津波対策の効果評価

- 津波対策施設の整備 630億円
- 防潮堤等 216km整備
- 河川の水門 54基整備



津波の浸水域の軽減

浸水面積 59km²⇒38km² (36%軽減)

人的物的被害の軽減

人的被害 死者 810人⇒230人 (72%被害減)

建物被害 大破 6,700棟⇒2,200棟 (66%被害減)

沼津市静浦地区防災マップ

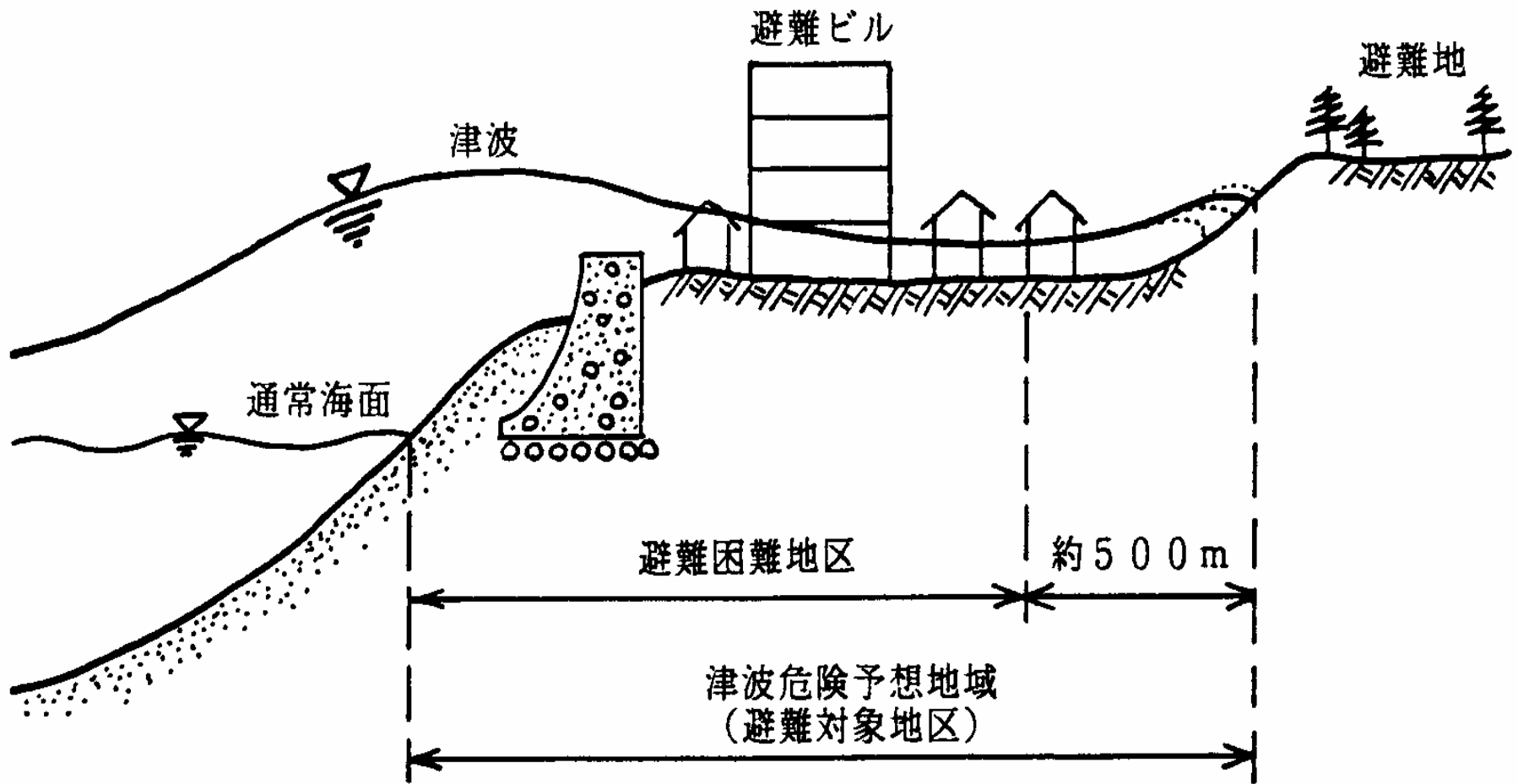
(防災センターに地区毎の避難経路を掲示)



電柱に表示されている津波の想定浸水高



津波避難計画の基本概念



津波避難ビルの機能を持つ コミュニティ防災センター



沼津市多比地区の津波避難階段 (急傾斜地崩壊防止事業の管理通路の活用)



沼津市多比地区の津波避難用マウンド (急傾斜地崩壊防止工事の残地利用)



清水市三保の海水浴場

階段状の海岸堤防



地震だ 津波だ すぐ避難！

- わが身の安全を第一に高台へ避難
- 車による避難は混乱の元
- 財産の持ち出しはあきらめ、まずは避難
- 津波が浸水を始めたなら、遠くへの避難はあきらめ、近くの建物のできるだけ高いところへ避難（日ごろから避難ビルの確認を）
- 家具の固定や通路の整理など、日頃からの安全対策が重要

津波避難を呼びかける看板

**地震だ、津波だ、
すぐ避難！**

